

3. 事業実施計画の進捗状況

基本目標 I 意識を変える

- 【重点目標】
- 1 家庭・地域での慣習、しきたりの見直し及び意識の改革
 - 2 多様な選択を可能にする教育・生涯学習の充実
 - 3 メディアにおける男女の人権の尊重

区分「継続」…R2年度以前から実施中かつ今後も継続
「新規」…R3年度から開始
「予定」…計画年度(R3～R4)内に実施予定

【達成度の基準（自己評価）】

A=かなり進んでいる（80%以上）…男女共同参画の視点で位置づけ取り組むことができた。
B=ある程度進んでいる（50～70%）…男女共同参画の視点でおおむね取り組むことができた。
C=あまり進んでいない（10～40%）…男女共同参画の視点では弱く、一部しか取り組めなかった。
D=全く進んでいない…事業を実施しなかった。

令和3年度男女共同参画推進に関する実施計画の進捗状況

◆基本目標Ⅰ 意識を変える

重点目標 1 家庭・地域での慣習、しきたりの見直し及び意識の改革

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
①男女共同参画の視点からの社会制度・慣習・しきたりの見直し	地域出前講座	1	男女共同参画推進室	継続	市の男女共同参画推進委員会が中心となって、各まちづくり協議会や児童クラブ、地域のイベントの機会に出前講座を実施し、積極的な啓発を行う。	市男女共同参画推進委員は、まちづくり協議会単位で委員を選任して2年目であり、地域のパイプ役として情報共有に努め、啓発活動を行っている。 今年度も新型コロナウイルスにより、地域イベントや児童クラブに出向くことができず、出前講座が実施できなかった。そこで、新たな生活様式にあわせた啓発活動を実施するため、啓発活動の準備を行った。 ・パネル展示 4回 ・市主催イベント「ゆりの里DEかぞくデイ」 内容：男女共同参画かるた、SDGsクイズラリー、男女共同参画啓発動画の上映	C	今後も引き続きまちづくり協議会や地域団体等と連携しながら、今後の生活様式にあわせた啓発活動を本格的に実施し、男女共同参画の啓発を進めていく。
	ジェンダー平等の推進	2	男女共同参画推進室	予定	地域社会全体にジェンダー平等の意識付けを図るため、子どもから高齢者まで幅広い啓発活動に継続的に取り組む。	市男女共同参画推進委員会でもコロナ禍での啓発活動に向け、「SDGsすごろく」「男女共同参画かるた」「寸劇動画：どっちがいい？」の製作を進めた。11月の「ゆりの里DEかぞくデイ」では、幅広い年代層に啓発を行った。 また、LGBTQをはじめとする多様な性のあり方への理解促進を目的に、市職員および男女共同参画推進委員等を対象に研修会を行った。 ・LGBTQ研修会 講師 かずえちゃん 参加者数 62人	B	地域における慣習やしきたりにおいてジェンダー平等の意識付けが希薄であるため、今後も継続的に啓発活動を行っていく。
	コミュニティセンター講座	3	まちづくり推進課（各コミュニティセンター）	継続	社会教育指導員と連携し、講座等を通して、男女共同参画への理解、意識改革の啓発を図る。	女性が担うことが多い”料理”や”子育て”に関する講座を男性対象に実施した。 (具体事例) ・おうちで作ろう！オヤジ飯 8人（鳴鹿） ・男の料理教室 全3回 延22人（江留上） ・子育てパパ応援DAY！ 31人（坂井地区共催講座） ・おやじの料理教室 全4回 延60人（兵庫）	B	男女関係なく参加者間で協力しながら料理等講座を楽しむ姿が見られ、大変好評であった。一方、男性が担うことが多い分野（DIY等）の講座でも女性の参加が多くみられた。今後も講座を通して、男女双方の男女共同参画への理解、意識改革の啓発を図っていく。

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
②市民の自主的な活動に対する支援・促進	研修事業やイベント関係の情報提供	1	男女共同参画推進室	継続	国・県・他市町等が主催する様々な研修事業やイベント関係情報を、市内団体等に提供する。	さかい男女共同参画ネットワークに対し、ふくい女性財団等の研修イベント関係の情報の提供、さかい男女共同参画センターへ各チラシの設置など活動に関する支援促進を行っている。 ・さかい男女共同参画ネットワーク リーダー研修会 講師 後藤ひろみ氏	A	今後もさかい男女共同参画ネットワークと連携を取りながら、各市内団体に活動支援・情報の提供を行っていく。

②市民の自主的な活動に対する支援・促進	団体・グループへの支援	2	男女共同参画推進室	継続	男女共同参画の推進に取り組んでいる団体やグループの活動を支援するとともに、連携して男女共同参画意識の浸透を図れるよう情報を共有する。	国、県、他市町などが主催する様々な研修事業やイベント関係の情報を市内団体やグループなどに提供した。 「さかい男女共同参画ネットワーク」に対して、男女共同参画社会づくりに向けての啓発や推進事業についての補助を行った。	B	男女共同参画の推進に取り組んでいる団体やグループの把握に努め、団体やグループを通じてより多くの市民へ情報提供していく必要がある。 来年度も「さかい男女共同参画ネットワーク」の活動を支援、促進し、男女共同参画意識の浸透を図っていく。 男女共同参画意識の浸透を図るため、男女共同参画センターを拠点とし、市民に対して様々な事業の情報を提供し、講座・イベントに参加しやすい環境づくりを進めていく。
		3	まちづくり推進課 (各コミュニティセンター)	継続	活動場所の提供や、まちづくり協議会の地域イベントへの連携等により活動を支援する。	まちづくり協議会など活動意欲のある団体の活動を支援した。 (具体事例) ・三国の味を楽しもう 13人(みくにまち協) ・フレイル予防事業 老人クラブ花苗配布、花壇づくり 延90人(三国木部まち協) ・春江中部ふれあいのつどい 150人(春江中部まち協) ・クリスマス会 50人(春江東まち協)	B	まちづくり協議会や地域団体の活動への支援はもちろんのこと、コミュニティセンターが主催する講座の参加者同士が新たに自主サークルとして活動していけるよう支援するなど、地域住民の活動の場であるコミュニティセンターの役割は重要であり、今後も継続的に、関係団体の支援に努め、自主的な活動を促進していく。
		4	生涯学習スポーツ課	継続	地域で男女共同参画に取り組んでいる団体等の活動を支援する。	女性の会の活動を通じて、男女共同参画意識の醸成に努めた。	B	女性の会の会員確保など、地域社会での男女共同参画社会の実現にはまだ課題も多く、今後も粘り強い取り組みが必要である。
		5	図書館	継続	市民の自主的な活動につなげられる図書の貸出を行う。	例年通り、学校やコミュニティセンターに対し図書の貸出や紹介を行った。	B	今後も継続して、図書の貸出、活動の支援を行って情報を提供していく。

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
③男女共同参画に関する情報・資料の収集、情報提供の推進	男女共同参画に関する情報提供・啓発促進	1	男女共同参画推進室	継続	男女共同参画に関する情報提供、講座・学習会等を開催し、拠点施設機能の充実を図る。 広報紙やホームページ等を活用し、広く市民に男女共同参画意識の醸成を図る。	講座案内やイベント情報等を市広報紙、ホームページ、新聞などで情報提供し、参加を呼びかけた。募集の際は、チラシにQRコードを掲載することで、若い世代が参加しやすい取り組みを行った。 男女共同参画推進計画に基づく令和2年度の進捗状況を男女共同参画審議会の評価とともにホームページなどで公表した。 11月の市男女共同参画推進月間には、男性の家事・育児参画推進イベント「ゆりの里DEかぞくデイ」を開催し、若い世代の親子のべ約350人が体験ブースを訪れ、若い世代に対し男女共同参画について、関心と理解を深めることができた。	A	今後も、メディアを使った情報・資料の提供など、継続して積極的な情報発信に取り組んでいく必要がある。 また、11月の市男女共同参画推進月間には、イベントを実施するなど、幅広い年代層に男女共同参画について関心と理解を深める取り組みを行っていく。 市の進捗状況については、内容を関係部署へ伝えるとともに男女共同参画の意識啓発に努めたい。

③男女共同参画に関する情報・資料の収集、情報提供の推進	男女共同参画推進月間イベントの開催	2	男女共同参画推進室	継続	男女共同参画について関心と理解を深める推進月間(11月)を軸に、イベントや啓発活動を行う。	11月の男女共同参画推進月間の「ゆりの里DEかぞくデイ」では、家族のコミュニケーションと男性の家事・育児参加を促すことを目的に、家族が楽しめるイベントを開催した。(参加者のべ350人) ・ゆるスポーツ体験 ・フォトコーナー ・多肉植物の鉢植えづくり など	B	新たな生活様式にあわせた啓発活動を実施し、楽しみながら男女共同参画への意識を醸成する取り組みを行っていく。
-----------------------------	-------------------	---	-----------	----	---	--	---	---

1 家庭・地域での慣習、しきたりの見直し及び意識の改革					【重点目標・達成度(審議会評価)】 A=かなり進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が高まる。または問題が改善されている。 B=ある程度進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が広まりつつある。 C=あまり進んでいない…男女共同参画推進の対象が一部に限られており、広がりがみられない。 D=全く進んでいない…活動が見えてこない。または施策の実施状況が市民に訴えるものになっていない。			
審議会評価	意見・要望等							
B	コミュニティセンターの講座、まちづくり協議会の活動として、地域での慣習・しきたりの見直しなどについて学習する機会があまりないように感じる。区長やまちづくり協議会役員等も女性が少ないため、学習機会を多く持つと良い。							

重点目標 2 多様な選択を可能にする教育・生涯学習の充実

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
①男女共同参画の視点に立った家庭教育の推進	コミュニティセンター講座	1	まちづくり推進課(各コミュニティセンター)	継続	講座を通して、男女共同参画の意識を醸成する。性別にとられない講座や教室等を企画・実施し、男女が共に住みよい家庭環境の推進を図る。	料理やえいご学習、母の日や父の日など、親子や家族で参加する家庭を意識した講座を実施した。また、健康・体操・歌等の講座では、男女問わず人気の講座となった。 (具体事例) ・葉っぱ寿司講座 19人(浜四郷) ・父の日のフォトフレームづくり 10人(三国木部) ・えいごのじかん(親子)全8回 延102人(江留上) ・Smile☆クッキング 全9回 延63人(春江西) ・喉を鍛えて肺炎予防講座 全6回 延57人(大石) ・のびのび健康体操 11人(東十郷) ・うたのサロン 全2回 16人(大関) ・子育てパパ応援DAY! 31人(坂井地区)	B	子どもを交えた親子や家族を参加対象とした講座は、家庭における男女共同参画の意識を醸成するきっかけとして、今後も継続して取り組んでいきたい。
		2	生涯学習スポーツ課	継続	性別にとられない教室を企画実施する。	成人大学の講座・生涯学習講演会を企画する際に、性別にとられない内容の講座を取り入れるよう努めた。	A	性別にとられない講座や、男女が共に参加し取り組める講座など、今後も試行錯誤し実施していく必要がある。
	3	心の家庭教育支援事業	生涯学習スポーツ課	継続	家庭教育に関する情報提供や相談活動を通して、両親で家庭教育に関わる大切さについて積極的な啓発を行う。	小学校の就学時健康診断の機会を利用して、保護者対象の「子育て講演会」を開催し、家庭教育に関する情報提供や情報の共有などの機会をより多く持つことができた。	B	保護者からは、父親の家庭での関わりが希薄等の意見もあり、家庭教育支援員がファシリテーターとなり、両親ともが協力して家庭教育を行うことの大切さを伝える必要がある。
	4	子どもの読書活動推進事業	図書館	継続	親子で参加できるおはなし会や行事の開催や、ブックスタート事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会や行事の開催回数は減少したが、ブックスタート事業については、通常どおり実施した。年間対象455人に対し408人(受講率約90%)	C	今後は、コロナ禍でも開催可能なイベントにシフトし、推進月間などに啓発活動に努めていきたい。

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
②学校・保育園等における男女平等の教育	学校と連携した男女共同参画の推進	1	男女共同参画推進室	継続	「赤ちゃんつながるオンライン交流」や出前講座等、教育活動の中で体験することにより、若年層からの男女共同参画の意識付けを図る。	初の試みとして、中学校と子育て支援センターをオンラインでつなぎ、子育ての喜びや命の尊さ、家族の愛情、男女共同参画意識などを伝えることを目的に、中学生と親子との交流会を行った。 ・市内3中学校3年生（合計481名） 丸岡南中学校 114名 春江中学校 256名 坂井中学校 111名	B	新型コロナウイルスの動向を注視しながら、新たな生活様式にあわせた形で対面型の交流に向けた取り組みを行っていく。
	男女共同参画に関する教育の推進	2	保育課（各保育園）	継続	保育士の男女平等の意識を高め、園児に対して性別ではなく、個々を重視した保育を実施する。保護者に対しても男女平等の意識を持って対応する。	園児を性別により区別することがないように、園児一人ひとりを1個人として尊重する保育を心がけた。また、保護者に対しても男女の区別なく子育てしていきような啓発に努めた。	B	今後も職員の意識向上に努め、保育園や保育士によって格差が生じないように実施していく。
		3	学校教育課（各学校）	継続	総合的な学習の時間や特別活動など様々な教育活動を通して、男女平等、相互の理解・尊重・協力についての指導を推進する。	市内全ての小中学校において、男女平等、相互の理解・尊重・協力についての指導を実施することにより、男女共同参画の意識が向上した。	A	継続して実施する。
	個性に応じたキャリア教育の推進	4	学校教育課（各学校）	継続	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けることが出来るよう、特別活動や各教科でキャリア教育の充実を図る。	市内全ての小中学校でにおいて児童生徒の発達の段階に応じ、特別活動や学校行事、各教科における学習指導において、キャリア教育の取組を実施した。	A	継続して実施する。
	合宿通学事業	5	生涯学習スポーツ課	継続	男女の区別なく協力しあうことの大切さを伝える機会をつくる。	市内4小学校において、合宿通学を実施した。昨年度に引き続き「防災」をテーマとした「防災合宿」を実施。男女混合の班編成とし、段ボールベッドの組立、非常食の調理など男女の区別なく行った。 6月18日～19日 三国西5年29人（男子12人、女子17人） 6月25日～26日 明章6年21人（男子15人、女子6人） 11月12日～13日 春江5年30人（男子13人、女子17人） 11月19日～20日 兵庫14人（男子6人、女子8人） コミセンde防災合宿 7月2日～3日 木部6年17人（男子10人、女子7人） まち協スタッフ21名	A	コロナ禍の中、可能な限り実施できるように、昨年に引き続き感染対策をした避難所形式で防災をテーマにした1泊の事業にした。学校の授業にもある防災教育を補う要素もあり、参加児童の防災意識がさらに高まった。児童だけでなく保護者にも高評価だったため、例年の実施校4校に加え、令和3年度は坂井木部まちづくり協議会が木部小学校とコラボしコミセンde防災合宿に取り組みしており、今後もっと実施団体が増えるよう呼び掛けていく。

③男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進	コミュニティセンター講座（再掲）	まちづくり推進課（各コミュニティセンター）	継続	講座を通して、男女共同参画の意識を醸成する。 性別にとらわれない講座や教室等を企画・実施し、男女が共に住みよい家庭環境の推進を図る。	地域のニーズや性別を問わず誰もが参加しやすい講座を企画、実施した。また、男性でも参加しやすい講座タイトル等、男女共に参加しやすい環境づくりに努めた。 ・「基礎からはじめるパソコン教室」 全10回 延85人（三国CC） ・認知症予防のためのアロマヘッドトリートメント 8人（三国CC） ・洋風おせち料理講座 全3回 延48人（浜四郷） ・葉っぱ寿司講座 19名（浜四郷） ・ノルディックウォーキング 全3回 17人（三国東部） ・ナマケモノ体操 全2回 延19人（三国東部） ・骨盤・リンパ体操 全30回 延600人（高棕） ・全身若返り体操 全20回 延198人（高棕西部） ・姿勢改善☆ピラティス教室 全8回 延70人（江留上CC） ・趣味1UP講座 全6回 76人（春江中） ・レッツ パン作り 全5回 延50人（大石） ・ウクレレ初心者教室 全10回 延90人（春江東） ・永平寺伝承料理 葉っぱ寿司 14人（春江東） ・脳活麻雀講座 全10回 124人（坂井木部）	B	性別にとらわれない講座や教室を企画、実施して、男女が共に学べる環境づくりに努めているが、男女共同参画の意識の醸成には、今後も継続して行っていく必要がある。
		生涯学習スポーツ課	継続	性別にとらわれない講座や教室を企画・実施し、男女共に住みよい家庭環境の推進を図る。	成人大学の講座・生涯学習講演会を企画する際に、性別にとらわれない内容・時間帯などを考慮した講座を取り入れるよう努めた。	A	性別にとらわれない講座や、男女が共に参加し取り組める講座など、今後も試行錯誤し実施していく必要がある。
	子ども会育成事業	生涯学習スポーツ課	継続	性別に関係なく楽しめる事業を実施することで、参加者の人数を増やし子ども会の活性化を図る。	性別による差が出ない事業として、例年実施しているドッジビー大会はコロナ対策を十分に講じることが困難であるため中止としたが、かるた大会や壁新聞コンクール（個人またはきょうだいで応募）は性別にとらわれない募集をはかり多数の参加があった。	A	学校生活だけでなく地域の活動においても性別にとらわれない内容になっており、子どもの頃から男女平等の活動を実施することで自然に根付くものと考えるため、今後もそのように取り組んでいきたい。

2 多様な選択を可能にする教育・学習の充実		【重点目標・達成度（審議会評価）】
審議会評価	意見・要望等	A=かなり進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が高まる。または問題が改善されている。 B=ある程度進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が広まりつつある。 C=あまり進んでいない…男女共同参画推進の対象が一部に限られており、広がりがみられない。 D=全く進んでいない…活動が見えてこない。または施策の実施状況が市民に訴えるものになっていない。
A	コロナ禍でも防災をテーマとした合宿通学や、オンラインで中学生と親子の交流会を行うなど、工夫しながら実施されており評価できる。	

重点目標 3 メディアにおける男女の人権の尊重

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
①メディアにおける男女共同参画の推進	広報広聴事業 行政チャンネル運営事業 ホームページ運営事業	1	秘書広報課	継続	広報、CATV及びHPなどの広報媒体を有効に活用し、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、男女共同参画の視点に基づいた編集に努める。	広報、CATV及びHPなどの広報媒体において、男女共同参画の視点に基づいた編集を行った。「広報さかい」11月号において、特集記事「わたしの当たり前、みんなの当たり前」と題して、性別役割分担意識の時代変化や理想と現実を紹介し、市民に対する「男女共同参画」の意義を掲載した。男女共同参画を推進するための企画番組「ライフデザイン～自分らしい人生を考えよう～」を、CATVで放送。	A	引き続き、男女共同参画の視点に基づいた編集に努める。

施策の方向	主な施策	No.	担当課	区分	事業の概要	実績	達成度	課題
②行政の広報・出版物等における性別にとらわれない表現の促進	広報広聴事業 行政チャンネル運営事業 ホームページ運営事業	1	秘書広報課	継続	平成20年度に作成した「ちょっと待った！その表現～行政刊行物ガイドライン～」を活用して、広報、CATV及びHPなどの広報媒体において、性別にとらわれない表現の促進に努める。	広報、CATV及びHPなどの広報媒体において、性別にとらわれない表現を行った。	A	引き続き、性別にとらわれない表現に努める。
	男女共同参画の視点に立った表現の推進	2	男女共同参画推進室	継続	イベントや講座のチラシ、ポスターやホームページ等の作成において、性別にとらわれない表現に努める。	講座のポスター、チラシやホームページなどの作成にあたり、性別にとらわれない表現やイラストの使用に努めた。	A	引き続き性別にとらわれない表現に努める。
		3	まちづくり推進課 (各コミュニティセンター)	継続	コミュニティセンター講座のチラシ等の作成時において、性別にとらわれない表現に努める。	センターだよりや講座のチラシ等の作成時において、性別にとらわれない表現となるよう努めた。	B	今後も引き続き性別にとらわれない表現に留意し、どちらの性にも偏らず参加していただけるよう継続して工夫していく。
		4	保育課 (各保育園)	継続	園だより作成や連絡帳記入において、男女平等の視点に立った表現に努める。	保育園が発行する園だよりや連絡帳を記入する際には、表現方法が性別にとらわれない表記になっているかを意識し作成するよう努めた。	B	今後も継続して留意するよう努め、保育園や保育士によって格差が生じないように実施していく。
		5	学校教育課 (各学校)	継続	学校だより、学級だより、ホームページなどを作成する場合の表現について、性別にとらわれない表現に努める。	市内全ての小中学校において、学校だより等の作成時に性別にとらわれない表現の仕方を工夫することによって、男女共同参画を意識した働きかけを行った。	A	継続して実施する。

3 メディアにおける男女の人権の尊重		【重点目標・達成度（審議会評価）】
審議会評価	意見・要望等	A＝かなり進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が高まる。または問題が改善されている。 B＝ある程度進んでいる…施策の実施によって、男女共同参画の意識が広まりつつある。 C＝あまり進んでいない…男女共同参画推進の対象が一部に限られており、広がりがみられない。 D＝全く進んでいない…活動が見えてこない。または施策の実施状況が市民に訴えるものになっていない。
A	性別役割等に関しては、日常的なすり込みによるアンコンシャス・バイアスの防止が重要なので、今後も継続的に取り組んでほしい。	